



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 KYCOMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9685 URL http://www.kyd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 正 樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長IR担当 (氏名) 吉村 仁 博 TEL 0776-34-3512
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,298	△9.2	102	△1.4	140	5.1	100	39.1
2019年3月期第2四半期	2,531	7.5	104	308.9	134	268.2	72	330.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 119百万円 (27.2%) 2019年3月期第2四半期 93百万円 (436.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.81	—
2019年3月期第2四半期	14.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	4,634	2,404	51.9	473.43
2019年3月期	4,560	2,285	50.1	449.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,404百万円 2019年3月期 2,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期（予想）			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期の期末における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,770	△2.9	260	8.1	270	0.7	180	6.3	35.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,115,492株	2019年3月期	5,115,492株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	35,973株	2019年3月期	35,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,079,519株	2019年3月期2Q	5,079,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな回復傾向が続きました。一方、世界経済においては、貿易摩擦の長期化や中国経済の先行きなど、海外の政治状況・経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のなかで当社グループは、事業の柱であるIT関連分野において、ソフトウェア開発及び関連業務では、よりユーザーに近い立場での開発業務が出来るようにグループ会社間で連携を取りながら企業体質の強化を続けてまいりました。また、コンピュータ関連サービス分野におきましても、サービスの質の向上に伴い、ユーザーからも評価していただけるような提案営業の強化を続けてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度において「人材関連事業」を売却したこと等により、22億98百万円（前年同期比9.2%減）となりました。営業利益は1億2百万円（前年同期比1.4%減）、経常利益は1億40百万円（前年同期比5.1%増）となりました。これに、特別損益の計上及び税金費用等を加味した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億円（前年同期比39.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりです。

当社グループの報告セグメントは、業績の評価、事業戦略の構築、経営資源の配分等を行ううえで重要性に基づいて決定しており、「情報処理事業」、「不動産事業」、「レンタカー事業」の3つで構成されています。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、情報処理事業の売上高は21億48百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は1億14百万円（前年同期比8.5%減）、不動産事業の売上高は73百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は32百万円（前年同期比10.0%増）、レンタカー事業の売上高は1億5百万円（前年同期比12.0%減）、営業損失は25百万円（前年同期は12百万円の営業損失）となりました。これに、その他及び調整額を加味した結果、売上高は22億98百万円（前年同期比9.2%減）、営業利益は1億2百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産及び負債の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は46億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円の増加となりました。

流動資産は17億70百万円となり、62百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が60百万円、有価証券が41百万円増加したこと及び、受取手形及び売掛金が86百万円減少したことによるものであります。

固定資産は28億63百万円となり、11百万円増加いたしました。これは有形固定資産のその他（純額）が29百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は22億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円の減少となりました。

流動負債は13億40百万円となり、35百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したこと及び、支払手形及び買掛金が29百万円、未払法人税等が24百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は8億89百万円となり、9百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7億62百万円で、前連結会計年度末に比べて60百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1億19百万円（前年同期は2億80百万円の増加）となりました。主な増加の内訳は、税金等調整前四半期純利益1億47百万円、減価償却費68百万円及び売上債権の減少86百万円であります。主な減少の内訳は、有価証券運用益31百万円、仕入債務の減少29百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は58百万円（前年同期は74百万円の減少）となりました。主な増加の内訳は、投資有価証券の売却による収入2億68百万円であります。主な減少の内訳は、投資有価証券の取得による支出2億3百万円、有形固定資産の取得による支出98百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は1百万円（前年同期は1億44百万円の減少）となりました。増加の内訳は、短期借入れによる収入5億30百万円、長期借入による収入93百万円であります。主な減少の内訳は、短期借入金の返済による支出4億90百万円、長期借入金の返済による支出1億4百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出30百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701,531	762,251
受取手形及び売掛金	643,692	557,011
有価証券	259,706	300,744
商品	2,629	16,656
仕掛品	26,452	24,597
原材料及び貯蔵品	1,636	1,475
その他	76,193	110,933
貸倒引当金	△3,947	△3,640
流動資産合計	1,707,893	1,770,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	547,731	537,180
土地	1,157,272	1,172,001
その他（純額）	341,373	370,449
有形固定資産合計	2,046,377	2,079,631
無形固定資産		
のれん	19,857	7,891
その他	11,638	11,945
無形固定資産合計	31,496	19,837
投資その他の資産		
投資有価証券	492,416	507,561
その他	312,960	288,019
貸倒引当金	△31,195	△31,195
投資その他の資産合計	774,181	764,385
固定資産合計	2,852,055	2,863,854
繰延資産	187	118
資産合計	4,560,137	4,634,004

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,991	57,121
短期借入金	240,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	188,733	182,114
未払金	440,071	474,390
未払法人税等	75,996	51,660
賞与引当金	100,652	102,327
その他	243,555	192,547
流動負債合計	1,375,999	1,340,162
固定負債		
長期借入金	767,908	764,023
退職給付に係る負債	71,614	70,839
その他	59,337	54,145
固定負債合計	898,860	889,007
負債合計	2,274,860	2,229,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,612,507	1,612,507
資本剰余金	7,309	7,309
利益剰余金	614,327	714,967
自己株式	△9,636	△9,636
株主資本合計	2,224,507	2,325,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,293	81,525
為替換算調整勘定	1,475	△1,838
その他の包括利益累計額合計	60,769	79,687
純資産合計	2,285,276	2,404,834
負債純資産合計	4,560,137	4,634,004

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,531,433	2,298,844
売上原価	1,991,546	1,822,722
売上総利益	539,886	476,122
販売費及び一般管理費	435,648	373,301
営業利益	104,237	102,820
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,392	12,434
有価証券運用益	16,167	31,592
その他	16,629	9,642
営業外収益合計	42,188	53,669
営業外費用		
支払利息	8,575	7,232
為替差損	—	3,819
その他	3,839	4,577
営業外費用合計	12,415	15,629
経常利益	134,010	140,861
特別利益		
受取和解金	—	10,937
特別利益合計	—	10,937
特別損失		
投資有価証券評価損	9,954	3,525
固定資産除却損	0	259
訴訟関連損失	9,769	—
リース解約損	—	652
特別損失合計	19,723	4,436
税金等調整前四半期純利益	114,287	147,361
法人税、住民税及び事業税	41,951	46,722
法人税等合計	41,951	46,722
四半期純利益	72,336	100,639
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,336	100,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,351	22,232
為替換算調整勘定	3,272	△3,314
その他の包括利益合計	21,623	18,917
四半期包括利益	93,960	119,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,960	119,557

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	114,287	147,361
減価償却費	69,188	68,740
のれん償却額	24,431	11,966
繰延資産償却額	68	68
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△337	△306
受取利息及び受取配当金	△9,392	△12,434
支払利息	8,575	7,232
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,719	△775
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,686	1,675
有価証券運用損益（△は益）	△16,167	△31,592
投資有価証券評価損益（△は益）	9,954	3,525
受取和解金	—	△10,937
訴訟関連損失	9,769	—
売上債権の増減額（△は増加）	85,437	86,680
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,476	△12,011
仕入債務の増減額（△は減少）	6,803	△29,869
固定資産除却損	0	259
その他	18,675	△51,696
小計	317,784	177,884
利息及び配当金の受取額	9,405	12,452
利息の支払額	△8,504	△7,301
和解金の受取額	—	5,937
訴訟関連損失の支払額	△9,769	—
法人税等の支払額	△28,119	△69,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	280,798	119,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,482	△98,421
無形固定資産の取得による支出	△1,578	△1,600
投資有価証券の取得による支出	△192,282	△233,547
投資有価証券の売却による収入	185,631	268,489
貸付金の回収による収入	2,520	2,520
その他	△585	4,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,776	△58,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	530,000	530,000
短期借入金の返済による支出	△560,000	△490,000
長期借入れによる収入	50,000	93,900
長期借入金の返済による支出	△134,943	△104,404
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,024	△30,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,967	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	542	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	61,597	60,719
現金及び現金同等物の期首残高	605,345	701,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	666,942	762,251

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。